

銀河レポート401

No.61
6月号

発行日：令和2年6月1日
編集&発行：四日市市立博物館
プラネタリウム
電話：059-355-2700
HP：https://www.city.yokkaichi.mie.jp/museum/museum.html

6月の星空

アークトゥルス

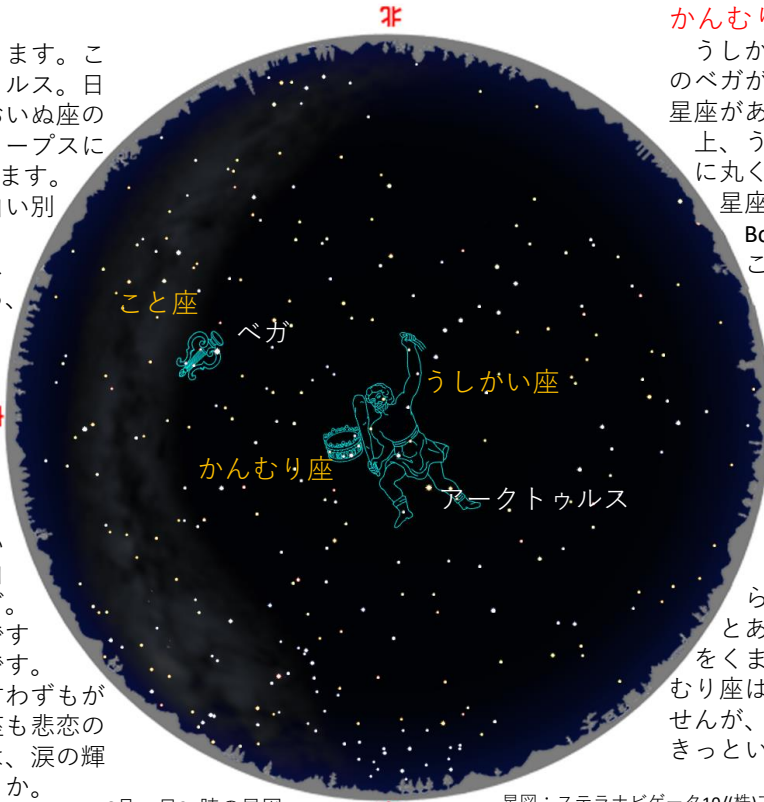
南の空に明るく輝く星があります。これは、うしかい座のアークトゥルス。日本から見られる星の中で、おおいぬ座のシリウス、りゅうこつ座のカノープスについて、3番目の明るさを誇ります。このように明るい星には、面白い別名がたくさんあります。

黄金色に光るアークトゥルスは、麦の穂が輝く刈入れのころ、空の高いところに見えるので、日本では麦星と呼ばれていました。麦星が昇ってくるころになると、麦茶やビールが恋しくなりますね。

ベガ

東の空高くにもう一つ明るい星が昇ってきています。真っ白に輝くこの星は、こと座のベガ。夏の空でひときわ目立つベガですが、織姫星という名前も有名です。

織姫が登場する七夕伝説は言わずもがな愛の物語ですが、実はこと座も悲恋のお話です。ベガの青白い輝きは、涙の輝きのようにも見えるのでしょうか。



6月15日21時の星図

星図：ステラナビゲータ10/(株)アストロアーツ

かんむり座

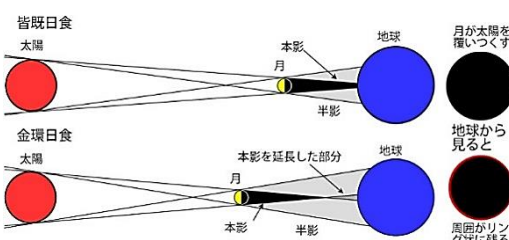
うしかい座のアークトゥルスとこと座のベガが見つかったら、挑戦してほしい星座があります。二つの星をつないだ線上、うしかい座寄りのところに、U字に丸く連なっている星たち。こちらの星座はかんむり座。英語名はCorona Borealis (コロナ・ボレアリス)でこの頃は似た単語をよく聞きますね。かんむり座で最も明るい星はゲンマとも言われ、宝石という意味を持ちます。U字の中央で明るく輝くゲンマは、かんむりには欠かせません。

そんなかんむり座、とてもわかりやすい形をしているので、世界中に様々な見方があります。日本では七つ星を数えられたら長者になれるという言い伝えから「長者のかまど」と呼ばれたり、とある国では、U字のそれぞれの星をくまの肉球に見立てていたり。かんむり座は明るい星が多い星座ではありませんが、この形さえ見つけてしまえば、きっといろんな楽しみ方ができますよ。

日食を知りたい! ~天文学編~

日食は月が太陽の前を通り過ぎるため、月によって太陽が隠されてしまう現象のことです。月と地球の距離が近い時には月が大きく見えるため、太陽のすべてが隠されて皆既日食に、逆に遠い時には月が小さく見えるため太陽のすべてを隠しきることができず、金環日食になります。このように月と地球との距離は不安定で、近づいたり遠ざかったりしています。

ただ、この絶妙な距離感は遠い将来崩れてしまいます。それは、月が地球から年に約3.8cm遠ざかっているから。これはつまり、遠い未来の人類は皆既日食を見られなくなるということです。日本では数年から数十年に一度、私たちを楽しませてくれる日食ですが、長い目で見るとその様子を大きく変えていくのですね。



図：理科年表オフィシャルサイト

コスミックスクール

日食グラスで太陽を見よう

今月21日には日本で部分日食が見られます。ただし、日食を観察するときには、必ず専用の日食グラスが必要です。自分だけの日食グラスを作って、部分日食を安全に観察しましょう。

日時：6月21日(日) 13:00~15:00
場所：1階 研修実習室
料金：無料



制作時間は20分です。
時間入れ替え制につき整理券を13:00から配布します。

★★観望会★★

《博物館主催きらら号観望会》

日時：6月21日(日)
時間：16:00~17:30
場所：博物館前市民公園
内容：部分日食を見よう

日時：6月27日(土)
時間：19:30~21:00
場所：博物館前市民公園
内容：月を見よう

中止します

実施予定です

※天候不良時は中止です。
※当日は自由参加・無料です。



6月の月

6日		満月
13日		下弦
21日		新月
28日		上弦

編集後記

世紀の天文ショーという単語を聞いて、思い浮かべるものは世代によって大きく異なるのではないのでしょうか。流星群や彗星、日食など様々ありますが、その中でも日食は正確に予測されている分、驚きは少ないかもしれません。筆者は20代前半のため、大彗星も記録に残るような流星群も経験したことがありません。生きていううちに一度でいいから突飛的な天文現象に遭遇してみたいものです。